

一日も早い 拉致被害者の救出を!

「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」

横田滋・早紀江ご夫妻の講演と映画上映



日時

平成24年2月8日(水)

13時30分～16時40分

※13時開場

講演

「ブルーリボンに祈りを込めて」
横田滋・早紀江ご夫妻

映画

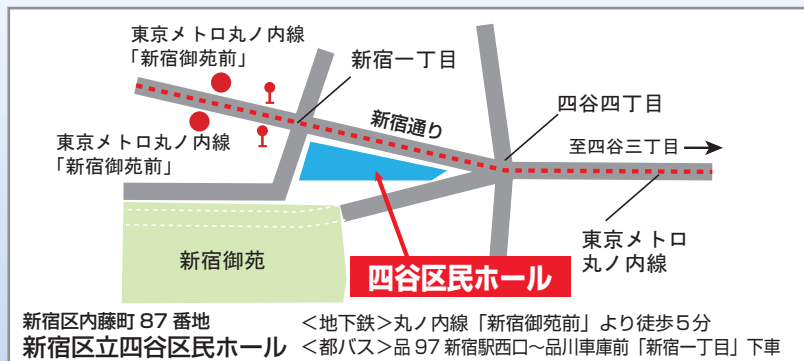
「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」
監督：クリス・シェリダン
パティ・キム
出演：横田滋
横田早紀江
増元照明 ほか

定員等

定員：450名 ※当日先着順
費用：入場無料

会場

新宿区立四谷区民ホール
新宿区内藤町87番地



© Safari media LLC 2006

主催：東京都、政府 拉致問題対策本部
後援：新宿区
協賛：公益財団法人東京都人権啓発センター

<問い合わせ先>

東京都総務局人権部人権施策推進課
電話 03-5388-2588

横田滋・早紀江ご夫妻プロフィール



横田滋、1932年、徳島県生まれ。横田早紀江、1936年、京都府生まれ。北朝鮮による拉致被害者、横田めぐみさんの両親。滋さんは「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」（通称「家族会」）の代表も務めた。

滋さんが日本銀行広島支店から新潟支店に転勤となり一年余り経った1977年11月15日、長女めぐみさんが北朝鮮による拉致被害を受ける。当初は誘拐や家出ではないかと思われた事件だったが、同時期に新潟や福井など日本海側で頻発していたアベックの蒸発と北朝鮮との関りをスクープした1980年1月の産経新聞の記事をきっかけに、横田夫妻は北朝鮮による拉致への疑いをもち始める。そして1997年、脱北した北朝鮮の工作員の証言により、その事実がようやく確認される。実に失踪から20年後のことである。同年2月3日、実名を公表して救出活動を行うことを決断した横田夫妻は同年3月「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」を結成、平成19年まで代表を務めた。

著書に、『めぐみ』（横田 滋・横田早紀江 著、双葉社）、『めぐみ、お母さんがきっと助けてあげる』（横田早紀江 著、草思社）、『ブルーリボンの祈り』（横田早紀江 共著、フォレストブックス）などがある。

映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」公式 ホームページから

映画の内容



© Safari media LLC 2006

1977年11月15日朝、いつものように学校へ出かけた当時13歳の横田めぐみさんが忽然と姿を消した。その時から平和だった日々が一変する。横田さん一家は帰ってこない娘を探し続けあらゆる事態を想像しながら、彼女の無事を祈り続けた。その実態が〈北朝鮮拉致事件〉という途方もないものとは思えないで…。

それから30年一。怒りや悲しみに包まれながらも娘の生存を信じ続け、娘を取り戻すための果てしない闘いの日々が続く。その家族の凜々しくも懸念な姿は強い力で人々を巻き込み、やがて国家までも動かしていく…。

映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」公式 ホームページから

お問い合わせ

< 拉致問題等について > 東京都知事本局調整課……………TEL03-5388-2121

< 拉致問題の啓発について > 東京都総務局人権施策推進課…TEL03-5388-2588

東京都 拉致問題

検索